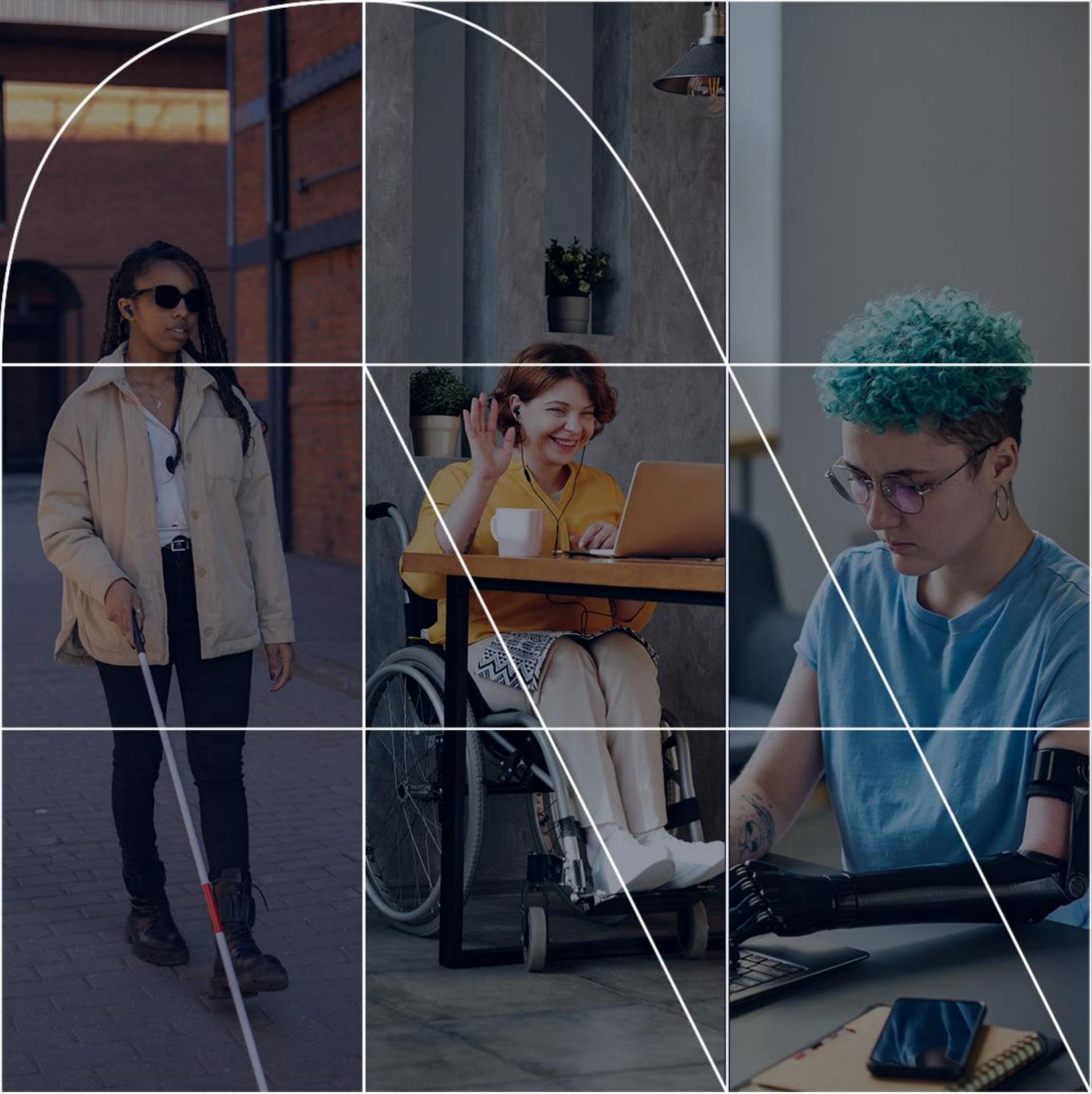




Tech for All

すべての声を尊重しなさい

私たちは耳を傾けながら成長します。私たちは異なる視点を尊重し、すべての起源を尊重し、互いに学び合っています。



ブラジルでは、人口の約9%にあたる1,800万人以上が何らかの障害を抱えています。雇用されているのはわずか26.6%で、そのうち半数以上が非公式で不安定な仕事に就いています。インクルーシブ教育へのアクセスの制限、職場でのスティグマ、障害者包摂に関する認識の欠如が、障害者の専門能力開発や雇用機会をさらに制限しています。

法的遵守もまた重要な側面です。ブラジルの法律では、従業員1,000人以上の企業は労働力の5%を障害者(PWD)に含むことを義務付けていますが、労働省によると、サンパウロのテック企業の25%は障害者を一人も雇用しておらず、約46%は法的ノルマの30%未満しか満たしていません。新入札法(Lei 14.133/2021)は、障害者採用の遵守を公共入札の適格性と結びつけ、包摂を社会的なものであると同時にビジネス上の必須とするものにしました。



テック・フォー・オールの起源

Tech for Allは、人材の発掘、採用、育成の方法を再構築することで、これらの制度的な障壁に直接取り組みます。私たちの採用戦略は、単なる正式な教育や経験だけでなく、潜在能力と学習アジリティに基づいており、これまでテック業界から排除されてきた才能ある人材に扉を開きます。

採用後、参加者は職務中に積極的に活動しながら、技術的および横断的なスキルに関する継続的なビジネスに沿った研修を受けます。これにより即時の適用が可能になり、専門的な成長が加速します。テックスキルとビジネススキルという二重カリキュラムは、個々の潜在能力を最大限に引き出し、すべての従業員が組織の目標に効果的に貢献できるようにしています。

重要な革新の一つがバディプログラムで、新規の障害者採用者とボランティアメンターを組み合わせ、特にリモートワークの環境での統合を支援します。この取り組みにより、定着率は95%を超え、業界平均を大きく上回り、初日から帰属意識を育んでいます。

バディプログラムについて

社内の統合を促進するために、Tech for Allプログラムの参加者はバディプログラムを通じてサポートネットワークとつながっています。

バディはボランティア従業員で、6か月間にわたり障害を持つ従業員(PwD)がNTT DATAでの最初の移動に同行し、その職場内で直接的な支援を提供します。

Felipe Alves

「バディであることは、学び、交流、そして充実感に満ちた素晴らしい経験でした。レジリエンスについて多くを学び、会社の文化や私たちが行っているプロセスの一部を共有できて大変嬉しかったです。文化大使として、その経験を通じて成長できる素晴らしい機会です。」

ポルトガル語からの翻訳

Barbara Silva

「快適な領域から一步踏み出すのは決して簡単ではない——要求、プロジェクト、会議、そして私たちが安全に保つ日課のルーティン。しかし、Tech For Allプログラムのバディとして心を満たす挑戦を受け入れることほどやりがいのあるものはありません。

問題解決、特に人生について多様な視点を持ち寄った新しい同僚たちと交流することで、多くのことを学びました!

バディであることは、異なる背景を持つ人々との知識交換を通じて、NTT DATAでの経験を豊かにし、仕事に対する意識と回復力、そして愛情を高めてくれました。」

ポルトガル語からの翻訳

Gabriela Costa

「今日、私は本当に誇りに思えるチームの一員です。それぞれの個性を持つ人々は、私たちの成長と価値を高める知識と経験を提供し、プロフェッショナルなプロジェクトだけでなく、私たちの私生活にも貢献しています。

多様な人々の存在こそが、チームとして、またグローバルに位置づけられた組織としての最大の強みです。」

ポルトガル語からの翻訳

Ellen Gagliardi

「Tech For Allプログラムの一員であるチームメンバーがいることで、多様性を通じて成長し繁栄できるという内省と確信に近づけてくれます。彼らはチームを強化し、経験、知識、独自のあり方を通じて常に教えてくれ、本当にチームをより良くしてくれます。私は私たちが団結した力だと思っている。彼らがいなければ、私たちはまったく同じではなかっただろう。」

ポルトガル語からの翻訳



採用プロセス統計

2024

- 1,151件の応募が受理されました。
- 425件の評価完了;
- People & Cultureによる115件のインタビュー;
- ビジネスエリアから面接を受けた候補者74名、
- 19人の専門家が採用されました。

2025

- 450件の応募を受け付けました。
- 244件の評価完了;
- People & Cultureによる128件のインタビュー;
- ビジネスエリアごとに面接を受けた候補者71名、
- 24人の専門家が雇われました。

彼らはこのプログラムについて何と 言っていますか？

Maria Hilel

全参加者のためのテック

「働くこと、存在すること、統合すること、生きること、学ぶこと、多様化すること、そして他にも多くの形容詞を含んで、この9ヶ月と10日間にわたり私が経験してきたことです。この講演は単に「包摂について話す」だけでなく、在宅勤務中であっても私たちが住む環境は非常に歓迎的です。多くの言葉が欲しいですが、ここで表現されている私の生活や感じていることが、講義と多様な環境の重要性を示していると感じていますし、確信しています。特に、50歳の障害者であり、大腸がんに悩まされ、2018年2月からストーマと共に生活している私にとってはなおさらです。」

ポルトガル語からの翻訳

彼らはこのプログラムについて何と 言っていますか？

Mariana Hayata

全参加者のためのテック

「Tech for Allは、キャリアの転換と自己発見の非常に重要な時期に私の人生に入り込みました。このような取り組みは非常に重要で必要なものの、企業がほとんど持っていない状況の中です。このプログラムは私を歓迎し、豊かな交流と学びの経験を可能にし、今もなお学びや専門的な視野を広げる動機付けとなっています。

それ以上に、そしておそらく最も重要なのは、今や心に抱いている障害のある同僚や友人たちに出会えたことでした。彼らは会社内に強いコミュニティ意識を築き、私たちが誰であり何を望んでいるかを拡大するために不可欠です。さまざまな部署や異なるリーダーシップのもとで共に。

私たちの成長を目の当たりにすることは本当にやりがいがあり、プログラムが今後も繁栄し続けることを心から願っています！」

ポルトガル語からの翻訳

彼らはこのプログラムについて何と 言っていますか？

Luiz Eduardo Brotto

全参加者のためのテック

「2024年後半、個人的な事情により、私は新たな就職の機会を探していました。LinkedInを日常的に閲覧している中で、アクセシビリティに関するプログラムに出会いました。会社とプログラムについて調べてみました。『NTT DATA、テック企業ですが、おそらくこの仕事に合った履歴書が合わなかったでしょう』と。それでも応募し、驚いたことに第二段階、第三段階に招待され、最終的に採用されました。

リモートワークへの適応、毎日の研修、気軽な会話、意欲的なチーム、注意深いサポートスタッフ、柔軟性、そして障害を持つ専門家にまつわる特別なニーズへの理解——すべてが完璧に調和しました。自分の仕事を遂行するモチベーションはどんどん高まり、今では仕事に就いてほぼ1年が経ち、チームへのコミットメントを非常に早く示せるようになったと信じています。他では想像もできないことですが、アナリストに昇進し、それが私の感謝と充実感をさらに深めました。

「Tech for All」は職場での信頼に対する考え方や視点の変化の扉を開き、NTT DATAは努力と集中によって、私たちは皆、より遠くへ進めることを証明しました。」

ポルトガル語からの翻訳

Tech for Allプログラムでは何を学びますか？



私たちの成長の過程で、専門的成長に必要なスキルを強化しています。

- 明確かつ効果的なコミュニケーション;
- キャリアリーダーシップ;
- リーダーシップの基礎;
- 積極的な傾聴と対人関係;
- 本物のプロフェッショナルなパーソンを築くこと。

これらの柱は、企業環境でより自信を持ち、影響力を持ち、目的意識を持って行動するための準備をします。

「このコンテンツは日々の仕事のルーティンにどのように役立っていますか？」

- 「研修では、NTT DATAの全体的な運営方法について明確な概要が提供されました。シンプルかつ直接的で、過度な単純化はありません。今日では、自分の地域が他者とどのようにつながっているかをよりよく理解できるようになりました。」
- 「それは、私が日々の活動で見ている全体のワークフローを直接強化してくれました。とても啓発的で教育的でした。」
- 「会社のあらゆる分野についての大きな理解が得られ、今ではより具体的な問題に直面したときに、誰に助けを求めればいいのか正確に分かっています。」
- 「コラボレーションを容易にすることで、私たちの日常業務に貢献しています。自分たちの立場や、自分の仕事が他のチームにどのような影響を与えるかを知ることは非常に重要です。これにより時間を節約し、生産性を高め、知識共有が会社に真の価値をもたらすことが保証されます。」
- 「NTT DATAのさまざまな分野を理解するマクロな視点を持つことで、毎日自分が行っていることの重要性をよりよく理解できるようでしょう。」
- 「NTT DATAとクライアントの情報を守ること、そして自分自身のデータを守ることの両方で。」
- 「非常に関連性を感じましたし、今後も研修がNTT DATAの文脈に合わせて調整されることを願っています。」
- 「非常に役に立つ!プレゼンテーションは明確で有益で、ヴィエイラの指導スタイル、配慮、そして注意深さは本当に価値がありました。」
- 「法務の分野でチャート作成を知っている人はごくわずかで、そのスキルはキャリアの強みになる。」
- 「すごく役に立つ!Excelは私の日課の一部です。」
- 「プレゼンでより良く取り組め、効率が上がり、学び続けられるんだ!」

参加者の100%が期待に応え、そのうち38%
がパフォーマンス基準を上回りました。

認定

- 3つのPCEP Py2 AZ-900認証
- 3つのPCEP Python認定

このプログラムの影響は参加者にとどまらず、
組織全体にわたる包摂、協力、成長を促進し
ます。

プログラムに参加していない従業員が職場で
与える影響について語っていることをご紹介します
します

Gabriela Costa

「今日、私は本当に誇りに思えるチームの一員です。それぞれの個性を持つ人々は、私たちの成長と価値を高める知識と経験を提供し、プロフェッショナルなプロジェクトだけでなく、私たちの私生活にも貢献しています。

多様な人々の存在こそが、チームとして、またグローバルに位置づけられた組織としての最大の強みです。」

ポルトガル語からの翻訳

Ellen Gagliardi

「Tech For Allプログラムの一員であるチームメンバーがいることで、多様性を通じて成長し繁栄できるという内省と確信に近づけてくれます。彼らはチームを強化し、経験、知識、独自のあり方を通じて常に教えてくれ、本当にチームをより良くしてくれます。私は私たちが団結した力だと思っている。彼らがいなければ、私たちはまったく同じではなかっただろう。」

ポルトガル語からの翻訳

Bruna Oliveira

「私はTech For Allプログラムの第1サイクルのオンボーディングに参加し、NTT DATAで変化をもたらすために参加した人々と間近で知り合うという光栄に浴しました。

彼らがどれほど楽しく、思いやりがあり、献身的かすぐに分かりました。

私はマリアナ・ハヤタとシモーネ・アマラルの仕事を熱心に追いかけました。彼女たちはそのパフォーマンスと学び、成長する意欲ですぐに地域で際立っていました。彼らは認定資格を取得するために努力し、主要なプロジェクトに貢献し、チーム内で真の献身とインスピレーションの模範となっています。

最近では、レアンドロ・アンドラーデやペドロ・オルタともより密接に仕事をする機会がありました。彼らもプロジェクトにおけるプロセスやコラボレーションに大きな影響を与えています。彼ら一人ひとりがチームに関わり、支えている様子が、私たちの日々の仕事に大きな違いをもたらしています。」

ポルトガル語からの翻訳

私たちの結果

Tech for Allプロジェクトは、組織、ステークホルダー、社会の各側面で変革的な成果をもたらしています。NTT DATA Brazilにとって、この取り組みは、労働力の5%を障害を持つ専門職(PwD)でなければならないという現地法の完全な遵守を推進する上で重要な役割を果たしています。2回の成功した回を通じて、このプログラムは43名の障害者支援(PwD)従業員をオンボーディングし、ビジネス分析、アプリケーション、財務、法務、営業、カスタマーサポートなど、バックオフィスおよび技術部門の代表性を大幅に向上させました。この成果は、法的枠を超えただけでなく、真に包摂的な職場づくりへの私たちのコミットメントを反映しています。



私たちの結果

定量的に見ると、プログラムは以下の通りです:

- 2つの版にわたり、ビジネス分析、アプリケーション、財務、法務、営業、カスタマーサポートなどのバックオフィスおよび技術分野に分散した43名の障害を持つ専門家(PwD)の採用を可能にしました。
- 初回開催から1年を迎えた今日、4名のTech for All社員が昇進し、チームに貢献した価値が認められました。他のプロモーションも進行中です。
- 95%以上の定着率、離職者は2名のみ(いずれも外部からの機会)。
- ソフトスキルとハードスキルの各150時間のトレーニングを実施しました。
- NTT DATA Brazilは2025年9月時点で、障害者の割合6%に達し、法定クオータを超えたことが確認されました。ブラジルの「レイ・デ・コタス」を遵守することで、従業員数100人以上の企業が労働力の少なくとも5%を障害者であることを義務付けることで、NTT DATA Brazilは新入札法(Lei 14.133/2021)の基準も満たしています。この法律は、参加を一般入札の資格と結びつけています。現在、NTT DATA Brazilの年間収益の5%を占める公共部門契約は、法的かつ戦略的なビジネス上の優位性をもたらしています。

私たちの結果

質的には以下の点があります:

- 多様な視点が尊重され、すべての声が尊重される、より包摂的で支援的な環境を育み、NTT DATAの「人々の成長の場」という使命を直接反映しています。
- 責任あるイノベーションを通じてクライアントの成功を加速させ、社会に良い影響を与えることで、当社のコアバリューを形にしました。障害を持つ専門家にエンパワメントを与えることで、すべてのチームメンバーへの尊重、ケア、エンパワメントへのコミットメントを示します
- 新しい視点と創造的な問題解決アプローチを導入しました。研究は一貫して多様なチームがより革新的であることを示しており、私たち自身の経験も、インクルージョンが新しいアイデアとより良いビジネス成果につながることを裏付けています。
- テック業界における障害者(PwD)の才能の認知度を高め、他の部門や地域、企業にもこのモデルを模倣するよう促し、その影響力を組織を超えて拡大しました。
- 従業員、マネージャー、外部パートナーから好意的なフィードバックを受け、NTT DATAが責任あるイノベーションと包摂的なビジネス慣行のリーダーとしての評判を強化しました。
- 障害者のための専門的成長と経済的エンパワメントのための実質的な道を創出し、より公平で持続可能な社会の実現に貢献しました。

Make



this

**the place
where
people
grow.**

**私たちの文化的志向：
人々が成長する場所であろう**

任務だけでは足りない。NTT DATA, Inc. が人々が成長する場所である文化を築くことを目指しています。正直な対話、継続的な学び、回復力、支援を通じて、社員が企業と自分自身の可能性を実現するための刺激を受け、準備される文化です。

